

## 薬務薬制部病棟業務整備小委員会研究会 (Web 配信)

●日 時：令和2年11月18日(水) 18:30～20:30

●参加費：会員 (東京都病院薬剤師会・東京都薬剤師会) …… 1,000 円  
非会員 …………… 2,000 円  
※事前振込 (受講者には参加費の振込先をお知らせします。)  
※シール郵送料込み

### ●プログラム

1. 18:30～18:55 製品紹介  
「エンレスト錠に関する情報提供」

大塚製薬株式会社

2. 19:00～20:30 講演

『医薬品間相互作用、健康食品・サプリメントー医薬品間相互作用について』  
～いまさら聞けない薬剤師としてのキホン～

1. 「食品・嗜好品と医薬品との相互作用を如何に捉えて注意喚起を行えるか」

東京慈恵会医科大学附属病院薬剤部 原田 大 先生

2. 「薬剤師による薬物相互作用リテラシーを醸成するために」

東京大学医学部附属病院薬剤部 副薬剤部長 大野 能之 先生

●申込方法：東京都病院薬剤師会ホームページからお申込みください。

●申込締切：令和2年10月16日(金) 15:00 まで (定員に達し次第受付終了)

●募集人数：200名 (先着順)

●受講認定 (予定)

出席者全員…日本病院薬剤師会の研修単位シール1単位 (研修番号II-3)

東京都病院薬剤師会会員…都病薬研修受講シール1単位

## 研究会の趣旨

今回、病棟業務整備小委員会研究会では、医薬品間、健康食品・サプリメント-医薬品間の相互作用を取り上げます。昨年度の医薬品医療機器等法の改正により、薬局では、「薬剤師について、調剤時のみならず医薬品の服用期間を通じて、必要な服薬状況の把握や薬学的知見に基づく指導を義務づける」ことになりました。

今後は、患者さんの薬歴や薬学的管理などの情報共有が薬業連携だけでなく、医療機関同士の連携としてより一層重要視されていきます。その際、薬物相互作用のマネジメント力が問われてきます。また医師、看護師を含めた他職種から薬剤師に求める要望として高いものに相互作用に関する情報提供があります。そこで今回は、医薬品情報分野でご活躍されているお二人の先生に講演していただきます。

みなさまのご参加をお待ちしております。

### ●注意事項：

- ・ 受講の可否はメールで連絡いたします。
- ・ 3eLive を使用した Web 配信となります。安定した通信環境が準備できる場所で視聴してください。  
尚、受講者側の通信環境の影響で接続ができない場合については、当会で責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
- ・ 視聴にかかる通信費は、受講者自身でご負担ください。
- ・ 当日の視聴URLは、受講が確定した方にのみメールで連絡いたします。
- ・ 同一施設内で複数名が視聴する場合も、申込は各個人で行ってください。複数名で視聴されても、1申込につき1枚の認定シールしか発行できません。
- ・ 災害や新型コロナウイルス感染症の影響等により研究会が中止になる場合は、東京都病院薬剤師会ホームページにてお知らせいたしますので必ずご確認ください。